

ひろば大代

NO.450

大代まちづくり
センター

H29.1.23

謹賀新年

本年もよろしく
お願い致します



新年の挨拶

大代まちづくりセンター長
大代高山会会長 佐藤哲朗

明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春を、お健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、まちづくりセンター・大代高山会の運営にご協力頂き有難うございました。

私事ですが今年9月に70歳の古希を迎え、そろそろ高齢者の仲間入りと思っていました。先般「65歳以上」と定められている高齢者の定義につい

て、日本老年学会、日本老年医学会は75歳以上に引き上げるべきとする提言を発表しました。提言によれば65歳から74歳は新たに「准高齢者」として位置づけ、現在の高齢者と区分されるということ。

5～10年前に比べて現在の65歳以上の方は生命学的に5～10歳は若返っているという。知的機能の面でも、現在の70代の検査の平均得点が10年前の60代に相当するとの検査報告もあるそうです。

高齢者を75歳に引き上げる背景には、労働人口の減少、社会保障費の増加など現在の日本が抱える様々な問題が見え隠れしています。高齢者でないことが「嬉しいこと」か「悲しいこと」か、複雑な昨今です。

気が付いてみると「ひろば大代」は今月で450号となります。昭和45年11月から公民館広報誌「つどい」として不定期で発行されていましたが昭和55年6月からは「ひろば大代」として毎月発行されています。

少子高齢、人口減少が進む中、36年間余り休刊することなく大代町の情報

発信と、地域の皆様への情報提供が出来たことは、偏に大代町民を始め、大代町出身者・諸先輩・関係者の方々の並々ならぬご努力と協力があつたからこそとお礼申し上げます。

今後も毎月発行にこだわりながら、500号を目指し親しみやすい情報誌を目指したいと考えます。町民の皆さまの温かいご意見をお寄せください。

年頭の挨拶

大田市議会議員
木村幸司

新年明けましておめでとうございます。迎春という言葉の通り、まさに春を迎えたかのような陽気の年明けでございました。

どちら様もお健やかに新年をお迎えになられましたこと、衷心よりお喜び申し上げますと共に、公私ともども、お世話になっております事に感謝申し上げます。

昨年、4月の臨時議会において、副議長に就任し、以降、議長を補佐しな



がら、副議長の職務はもちろんの事、円滑な議会運営となるように、また、市民の為の議会活動となるように副議長としての立場で、議員活動を行ってまいりました。

私が目標としております、躍動する議会とまでは至っておりませんが、市民の皆様の為の議会活動となるように、また、副議長が広報委員長として担当いたします議会広報は、わかり易く、読みよい議会広報となる様に、取り組んでまいりました。

今年、石見銀山世界遺産登録10周年を迎え、各種行事も開催され、活動の場が広まってまいります。

引き続き研鑽に勤め、市民の為の議会となりますように、力を尽くしてまいります。

また、議会運営もさることながら、ふるさと大代町が持続可能な町になる様に、皆様方と一緒に取組んでまいらなくては成りません。力を尽くしますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後となりますが、皆様にとりまして、幸多き一年となります事を御祈念

申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願い申し上げます。

新しき年に向けて!!

大代連合自治会長 森 守

何一つ分からずして皆さんのご支援助とご協力で何とか年を越せました。ありがとうございます。

新しい年を迎えるにあたり、大代にも新しい風を入れたいと思いつつも、お金のかかる事は出来ませんけれど、皆さんの智慧と体力とを集めて、この時代を乗り切って参りたいと思えます。今年は大代の誇りの大江高山の登山道の草刈りから頑張りたいと思えます。山を愛する人は素敵な山を求めて、毎週どこかの山に登っておられます。先般登山された人から、「山をいつもきれいにしておられる事と思って来たのに、山が荒れ放題になっていて大変悲しい」との言葉を聞きました。また久し振りに友達を誘って登山した山口県の方は「この高山がこんな事



になつているとは残念でした」と言葉を残して車は消えて行きました。

ふる里のシンボルの大江高山、朝夕に臨み春には優しく母のごとく、夏には涼しき風に昼寝して、冬は父のごとく厳しく見つめる高山、そんな高山と共にして大きく成りました。

そんな素晴らしい大江高山です。愛して行きましょう!!

草刈りに負けない体力をつくり皆さんの参加を期待しております。よろしくお願い致します。

新年から厳しき言葉になりましたが、本年も皆さんの御健勝と御活躍をお祈りして新年の挨拶と致します。

静岡県以北に

お住いの方を

教えて下さい



東京石見高山会会長 市原幸文

大代町の皆さん、新年明けましておめでとうございます。皆様には良いお年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

昨年十一月開催の第三十二回東京石見高山会から会長の大役を務めさせて頂くことになりました。皆様、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

前号の十二月号に、東京の福生にお住まいの米原光義様から「東京石見高山会の発端について」のご投稿が有り、その中に「九州地区にも高山会の設立を呼び掛けた」との記述が有り、初めて聞くお話で、感心致しました。

東京石見高山会の会則には「東京都とその周辺に居住する島根県大田市大代町(旧大家村、八代村)出身者及び大代町に特別縁故のある者をもって組織する」とあります。そして、会の目的として「会員相互の啓発・親睦と大代町民及び出身者の福利増進を図る事を目的とする」となっています。米原光義様はその発端を「遠くふる里から離れ心細い思いをしながら都会で生活している後輩を励ます」と共に、お互いの親睦、交流を通して絆を深め、少しでも『ふる里大代の役に立ちたい』と述べておられます。これらを実現するために若い年代の方の参加を呼びかけたいと思います。

三十年以上前に比べて、圧倒的に静岡県以北、関東、東北にお住いの方は少ないと考えられますが、これまで調査したことがありません。まちづくりセンター長の佐藤哲朗様のご協力を得て、静岡県以北、関東、東北などにお住いの方々を確認していきたいと考えています。

大代の皆様の各ご家庭に東京石見高山会から、お手紙を差し上げます。年始からのお願いで恐縮に存じますが、調査にご協力を頂ければ幸いです。

今年一年、皆さまのご多幸とご健勝をご祈念致します。

みんなで

語り合える

楽しい場所に

関西高山会副会長 池田岩雄



皆様明けましておめでとうございませす。私は本郷の池田です。と申しましたも故郷を離れて50年、知っていただいている人も少なくなってきました。

本郷では同級生の室田君、窪田さん

が残念なことに亡くなられ、関西高山会でも段々と人数も減っています。

でも去年の関西高山会25周年総会では149名が出席してくださり、盛会に開催されました。其の節には大代より会長様始め、神楽団の皆様方の出席を頂き、若い皆様方の力強い舞いに元気な大代を受け継いでくださっている事が素晴らしかったです。皆様一同立ち上りの盛宴、素晴らしかったです。大変に盛り上げて頂き有難うございました。私も故郷大代が大好きです。関西高山会では今後も大代で生まれ育った皆様とお会いし、語り合える楽しい場所にしたと思います。

私も色々と体に病気はありますが、一週間に3日働いております。又少しですが畑で野菜を作ったり、近所の出来る仕事をさせて頂いたり、身体を動かしております。これからお役にたてるように自分に言い聞かせております。前向きに一日一日を過ごしていきたいと思っております。

皆様方も体に気をつけて、今年も頑張ってください。よろしくお願い申し上げます。

家内安全を願う

大代寿会会長 日向 良

昨年末少量の雪が降り、見渡せば白一色である。お陰様で吾が家も皆元気で希望に輝く新年を迎える事が出来た。小生のみ、昨年末より風邪をひき込んでしまい家族の皆に心配をかけた。

そして年末に降った雪も早々に消えて大雪にならずにすんだ。

ところが昨年末に吾が家の畑も猿に襲われ、作物も殆ど全滅のようなみじめな状態になった。息子は直ちに防護策を講じたり、大変な作業をして頑張っていた。

さて大代町では益々人口が減ってどうしようもない社会現象である。

小生も八十六才となりいよいよ冥土への道も近く感ずる昨今である。

残る人生を精一杯生き、酉年に因み、ばた／＼と忙しく飛び歩きたいものだ。



年頭にあって

大代地区

社会福祉協議会

会長 高村 清



新年、明けましておめでとうございませす。大代町の皆様におかれましては、元旦の荘厳な日の出のもと、輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

日頃は、大代地区社会福祉協議会の事業に関しまして、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

私自身、昨年4月大役をお引き受けいたし9か月が過ぎました。私としては「社会福祉協議会」とは？と、一からその使命と役割の確認といった、手探り状態のなか、諸先輩方のご指導を受けながら、各社協委員とともに地区社協の事業を遂行してきました。現在、これまでの事業内容の確認、時代に沿った見直し等を行って最良の状態にすべき奮闘しています。

現在、大代町の人口は377名（28・12・1現在）、65歳以上の高齢

化率が約53パーセントと市内27地区中3番目に高い状況です。

核家族化、子世代は都会等他地域で生活、世代同居がままならない時代。さらに、地域での生活必需品の買い入れ困難、病院等への通院の不便等。また、近年の天候不順等自然災害の危険性も増しています。

このような状況下での大代町での生活を、如何に快適な状況にするには、地区社協としてどのような施策を行えば可能となるのか。

一方、介護保険制度の改正が行われ、要介護状態の区分中、要支援（訪問介護・通所介護）にあつては、全国一律に行われていた介護保険給付のサービすが、各居住地の自治体、即ち大代町住民にあつては大田市が市の事業として行うことになり、これが「介護予防日常生活支援総合事業」と言われているものです。

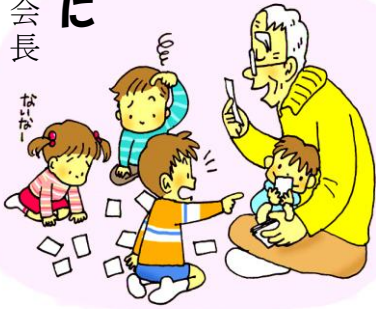
大田市としては現在「高齢者の通いの場づくり」として各地区に実践するよう指導されている状況で、現在、そのモデル地区として、川合、波根、久利、湯里、井田でその事業を行ってお

り、大代地区も前述のモデル実践を踏まえ、早期に高齢者の通い場づくりの話し合いを行わなければなりません。これは、町全体で行うのが必定となるもので、大代地区社会福祉協議会としても大きな一翼を担う立場であります。以上、前述情勢のなか、今後とも、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、酉年にあやかり羽ばたいてまいりますので、より一層皆様のお知恵を拝借させていただき、ご協力を得ながら事業を展開していきたく思いますので、よろしくお願い申し上げます。

幸多き一年で ありますように

大代婦人会長

佐藤京子



新年明けましておめでとうございませす。新年はお天気に恵まれ穏やかな元旦となりました。久し振りのご家族の顔々に笑みのこぼれるお正月を迎え

られましたこととお喜び申し上げます。我が家では昨年12月29日に4人目の孫が生まれました。3才を頭に2才、3ヶ月、生まれたての4人です。この4年間でアツと言う間に孫4人に恵まれビックリが正直な感想です。私自身子供を2人育てた経験があるはずなのですが、我が娘の出産里帰りでは、産湯の使わせ方、おむつの仕方、産着の枚数など全く記憶にないのです。そして、30年前と今では180度、子育てが変わっていて娘に聞きながら、保健師さんに何度も相談しながらですが、しかし教えてほしいと言う所もあり、一つ一つ問答をしながらのお世話となりました。子供の成長は目を見張るものがあり、お箸が持てるようになった、連続してお話しが出来るようになったとか、成長が楽しみな子供とはまるで真反対の私は体が動かなくなったり、漢字がわからなくなったり、いらぬことを話すことが多くなったと、老いては子に従わなくてはいけないうになりました。大代町世帯数189戸・人口377人（12月1日現在）、皆様のお陰をも

ちまして昨年無事楽しく行事が進められ、東京高山会、関西高山会の皆様のお陰でお力を頂き昨年に続き本年も明るい一年を迎えることが出来ました。心より感謝申し上げます。本年もどうぞ大代婦人会を宜しくご支援の程お願い申し上げます。皆様様の幸多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

継承と共同の力で

地域づくり

農業委員 横手新治郎



新年あけましておめでとうございませす。皆様にとりまして、幸多き年になりますようお祈り申し上げます。

暖冬で暮れ、暖冬で明けた2017年。今年は酉（とり）年。早速ですが、新聞に掲載されていたダジャレを紹介いたします。

社員「農場長。大変です。ハウスに鳥が侵入して、イチゴを食べていました」

農場長「とりましたか？」

社員「とりにがしました。バードと飛んで逃げました。」

昨年はサル年で猿の被害に苦しめられた一年でした。また、熊本地震、鳥取地震、年末には新潟火災も発生しました。7月には昭和18年の大水害以来といわれた豪雨でしたが、大きな被害とならず不幸中の幸いでした。

今、農村には、第三者による農業の継承や非農家出身者を農家に育てることに奮闘している人たちがいます。そのあらわれは2015年に新規農業に就農者が6万5030人となり、調査開始以来6年ぶりに6万人台を超えたそうです。これは各地域に「地域住民組織と呼ばれる住民自治組織」や「多面的機能支払いの活動」にも、地域を自分たちで何とかしようという勢いが出てきているからと言われます。近隣のまちにもイターン者が少しずつですがあります。これらの方との共同の力で新しい農村の地域社会をつくりたいものです。

全国の各農業委員会で農地パトロール（農地利用状況調査）が実施されていますので、大代町での水田、畑の地目となっている農地の状況を一筆ずつ調査しました。高齢化の進行で荒廃農



地が一段と増加していると感じました。高齢で亡くなったり、施設に入られ留守になると遊休農地となり、荒廃農地化し、イノシシ・猿などのすみかとなり、近隣の耕作農地にも被害が及び始めています。これを止めることは至難のことと思われませんが、地域の共同の力により、今以上に進まないよう出来ないものではないでしょうか。

十割そばの評判の高い高山そば道場も玄そばが不足しているようですし、「よっちゃん菜」では農産物が品不足となっていますから、大代町の農地は、まだまだ必要です。

アメリカの新指導者トランプ大統領

は、TPP（環太平洋経済連携協定）から離脱するようですので、農産物価格の下落は一時的には大きな変動はないともいわれています。

先祖代々耕作し続けてきた農地を台無しにしないような政策と地域力で守りたいものです。継承と共同の力で新しい農村社会を切り開きたいものです。



災害のない町に

大代消防団 中垣喜満

新年明けましておめでとうございませう。今年、皆さん穏やかな正月を迎えることが出来たのではないのでしょうか。

しかし、昨年は地震が各地で起きて被災地の皆さんが大変な思いをされています。僕も鳥取の地震では仕事に携帯電話が鳴り、その数秒後揺れを感じ数ヶ所に電話したことを思い出します。

自然災害はいつでも、起きるか分かりません。そのため日頃から気を付

けて、危ないと思つたらすぐ避難をしてください。

また年末には、糸魚川市で火事があり強風にあおられそれが大火になり、大変なことになっています。ニュースによると鍋をコンロにかけて、その場を離れていたことが原因と報じられていました。

ちよつとした油断が、思わぬ結果になります。一度火をつけたらその場から離れないように心がけてください。もし離れるときは、火を必ず消してから離れるようにしてください。消防団は町民のみなさんの安心、安全を守るために活動しています。みんなで災害のない町にしましょう。今年もよろしくお願い致します。

より安心して

住みやすい地域に



大代駐在所 山藤貴大

新年明けましておめでとうございませす。皆様におかれましては、つつがな

く新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

早いもので、私が大代に着任してからもう9ヶ月が経ちました。初めての土地で慣れぬこともあり、不安等もございましたが、皆様の支えとご協力のおかげで無事私も新年を迎えることが出来ました。

さらに昨年においては、この大代町において大きな事件・事故等の発生が無く、平和に過ごせましたことを大変嬉しく思います。これも皆様方の、警察活動に対する普段のご協力と、この大代町をより良い地域にしていくなためにご尽力された結果だと思えます。今後とも、大代町で事件・事故等を未然に防いでいき、より安心して住みやすい地域になるように私も尽力致しますので、皆様も引き続きご協力を頂ければと思います。

私自身、この大代町で迎える初めての冬に、強烈な寒さと積雪の多さに大変驚いてしまうばかりです。

皆様も体調を崩しやすい時期ではありますので、ご健康には十分に留意されて過ごして頂ければと思います。

我が家のおせち

上市 谷口真巳

私の実家では、毎年、おせちを作ります。年末の慌ただしさの中、バタバタとおせちを作る母や祖母を見て育ちました。お正月には、おせちやお雑煮を食べて過ごすのが当たり前だと思つて育つた私。

私がもう少し若かった頃の話ですが、保育士として働いている私は、お正月が近くなつたある日、保育園の子ども達に「お正月に食べるものはなあくんだ？」と聞いたことがあります。おもちちは出ても、おせちという答えはなかなか聞かれませんでした。年配の先生に「子ども達が、おせちを知らなくて」と言うと、「作る家庭が減つたら、知らない子どもも増えていくのよ。」と言われしました。核

家族化が進んだ昨今。お正月だからと言って、おせちを食べる



家庭が減っているようでした。自分の子どもにはおせちを知っていてほしいという思いから、私は毎年、おせちを作るようになりました。

始めは見よう見真似(笑)「重箱に入っていたら、見栄えがいいんじゃない?」って思えるおせち料理を作るところから始めました(笑)実家のおせちに入っていた料理は、ほぼ無視。インターネットや雑誌を参考にしたり、でも食べてみると、何だか今一つ。

お正月におせちを出したところで、ほとんど減らず:(泣)

頑張ったのにい、お金もかかっているのにい、何で?とブツブツ。

翌年からは、実家の母に作り方を聞き、重箱に入れる料理も彩りや子ども達が喜んで食べてくれるものを選んで作るようにしました。それからはおせちの作り置きが無くなるまで、主人も子ども達も喜んで食べてくれます。

ただ:大声では言えませんが:毎年、実家の母に黒豆と栗きんとんは分けてもらいます。だって、お母さんの作ったおせちの方がおいしいから:(笑)内密にしておいてください。

俳句

あすなる句会



今は子に 教はる身です 小正月
初乗りは 病院通いの 路線バス
椿 花田時子

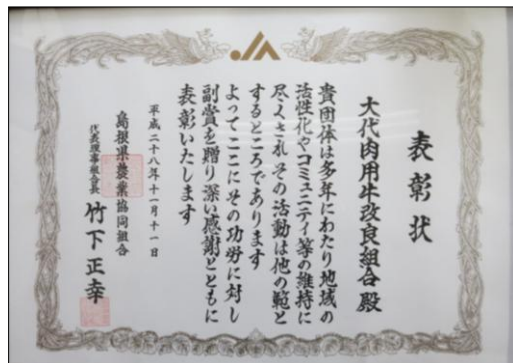
賑やかに 陽を受け園児の 初散歩
熱きお茶 笑顔で頂く 初句会
下市 今田文子

穏やかな 日和の続く お正月
仕合せや ゆったりつかる 初湯かな
川上 岩田律枝

干支の酉 いくつも並べ 老の春
恙無き 日々を願ひつ 年迎ふ
椿 柿丸寿枝

お知らせ

表彰おめでとーございませう



昨年11月に大代肉用牛改良組合(代表坂本静雄氏)へ鳥根県農業協同組合から、地域の活性化や活動に対して表彰が贈られました。

益々のご活躍を祈ります。

2月行事予定



▼8日(水)出張申告相談

受付 午前9時30分~午後2時
大代まちづくりセンターにて

▼23日(木)連合自治会

編集後記

新年を迎えて皆様からのご支援・ご協力とご寄稿をお持ちしております。